

河原 周辺エリア

1 いわたしはし 岩下橋

有形文化遺産

地図 C-1



河原川上流の岩下と平山・麦田を結ぶ交通路として架けられた単一アーチの石橋である。この橋の施主や石工名はわからず、洪水で流失したが、明治5年に架け替えられたものと思われる。橋のたもとに馬頭観音を祀る小さな祠がある。

2 こかねづかじょうあと 黄金塚城跡

有形文化遺産

地図 C-1



総谷と平山の両氏が居城した城といわれる。菊池から阿蘇の二重峠に至る山越道の西側に丘陵地帯があり、北東側麓に岩下の集落を望む一隅が城跡とされ、四つの石碑が並んでいる。市成城の後備で阿蘇、日田方面に備えた城と考えられている。

3 ひがしやまこうえん 東山公園

有形文化遺産

地図 B-1



南北朝時代、北朝方の大友勢が南朝方の菊池一族をせめて来た時に、菊池勢が陣をかまえた所と言われている。公園内にある石棺は、城家の塚と言われている。

4 ひらばるしょうげん 平原将監

有形文化遺産

地図 B-1



菊池家の軍馬を受けもち、出陣の際は指揮にも当たったと言われる人を祭っている。牛馬の神として崇められ、牛馬の疫病予防を祈願に遠方から来る人もいた。地元では年1回「正監さん祭り」を行い、家畜の無病を祈願している。

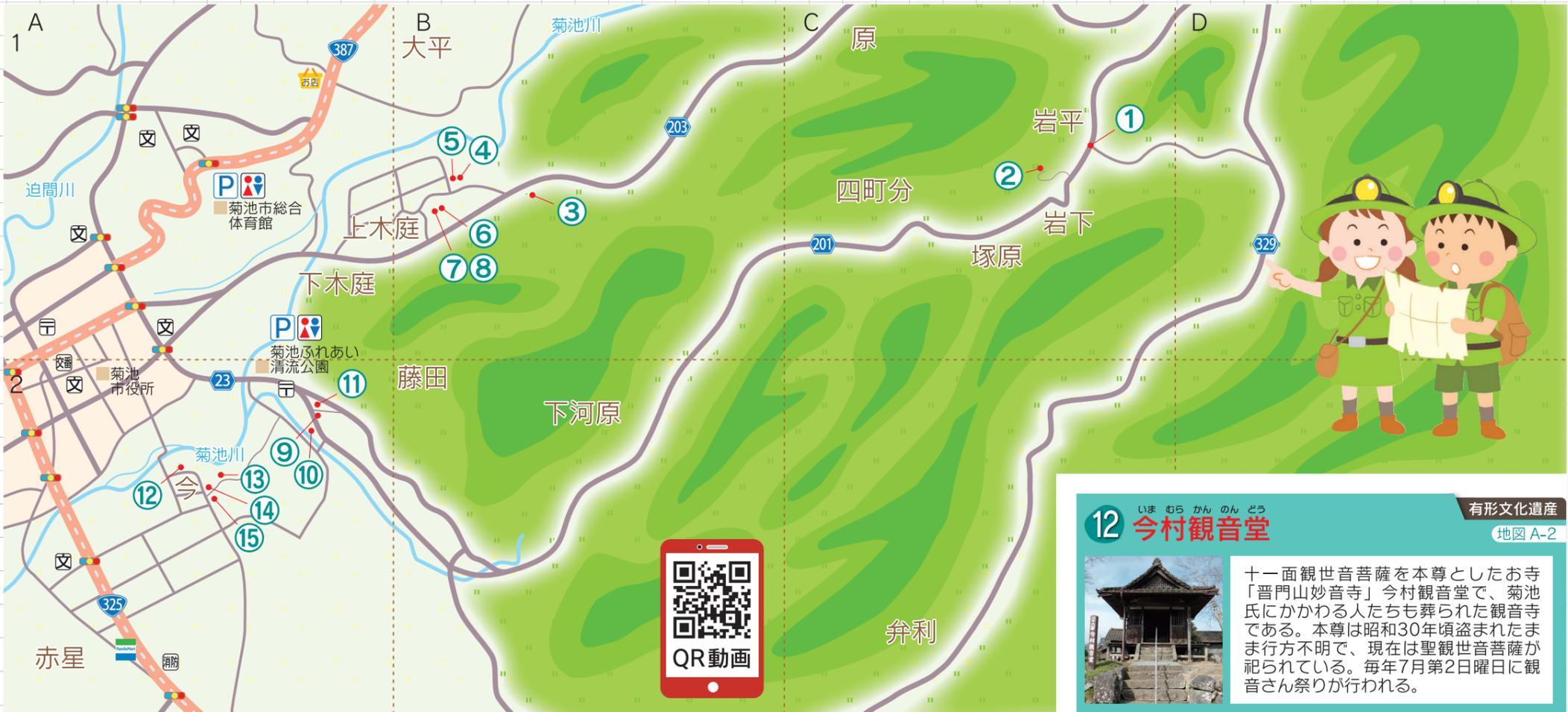
5 じそうぼさつ(いぼ地蔵) 地藏菩薩(いぼ地蔵)

有形文化遺産

地図 B-1



昔からいぼ地蔵として知られ、お地蔵様の社に供えられた小石を借りていき、日夜いぼをさすといぼが治ると言い伝えられている。



QR動画

6 べんざいてん 弁財天

有形文化遺産

地図 B-1



弁財天は、七福神の中の一柱。弁財天には、二臂弁財天と、八臂(はっぴ)弁財天があり、上木庭の弁財天は、腕が8本ある八臂弁財天。古くから言語(弁才)、知恵の神として伝えられている。八本の腕で人々に弁才、無尽の知恵、財宝、延命を与え、悪夢、邪気、呪術、鬼神を排除し、病苦や疾病、闘争からも遠ざけるとされている。8本の手には、弓、矢、刀を持つ。

7 こばなかおよろいんざんほうせんじ 木庭中尾 養林山峯泉寺

有形文化遺産

地図 B-1



鎮守神社の鳥居をくぐると正面右側に通称御観音堂、「城越前守武頭」建立で、菊池郡33番礼所のひとつ「養林山峯泉寺」があり、聖観世音菩薩が祀られている。毎年3月18日と12月18日に、区民総出で観音祭りを行っている。

8 なかおちんじゆじんじや 中尾鎮守神社

有形文化遺産

地図 B-1



中尾鎮守神社は下段の拝殿と上段の神殿で形成されている。古くから筋(すじ)の神様として伝えられており、九州一円から筋を患った人がお参りに来られる。毎年12月15日には区民総出で神主様をお呼びして鎮守祭りを行っている。

9 かわはるてながかいしよここうさつあと 河原手永会所御高札跡

有形文化遺産

地図 A-2



江戸時代に熊本藩を治めた細川藩主によって作られた河原手永会所が藤田区に在した時、会所用として建てられた。当時の人は「ゴウゴウサツ」と読んでいたと伝えられている。現在も藤田区の掲示板として継承利用されている。

10 くるまいしはちまんぐう 車石八幡宮

有形文化遺産

地図 A-2



江戸時代前期の神仏習合の時代から下河原字中原区小字車石地区の氏神さんとして古くから崇拝されている。平成27年に、14軒の氏子らで古くなったお宮を改修(築)。これからも神事行事や地区のコミュニティルームとしても活用される。

11 しょうげつざんやくしどう 松月山薬師堂

有形文化遺産

地図 A-2



江戸時代の建立といわれる本堂には、薬師如来像4体、12神将が祀られている。釈迦の涅槃絵図(掛け軸)、釈尊木造も保管されている。毎年4月8日に藤田区の各班が持ち回りで、甘茶を作り参拝者に配っている。

12 いまむらかんのんどう 今村観音堂

有形文化遺産

地図 A-2



十一面観世音菩薩を本尊としたお寺「晋門山妙音寺」今村観音堂で、菊池氏にかかわる人たちも葬られた観音寺である。本尊は昭和30年頃盗まれたまま行方不明で、現在は聖観世音菩薩が祀られている。毎年7月第2日曜日に観音さん祭りが行われる。

13 べんざいてん 弁財天

有形文化遺産

地図 A-2



菊池十八外城の一つである戸崎城の「二の丸」だった場所であり、敵の様子などを見張る物見櫓があった由緒ある古城跡で隈府の街からその西方を見渡せる福德付与の神として、河川を神格化した女神「弁財天」を祀っている。

14 つちあみだどう 土阿弥陀堂

有形文化遺産

地図 A-2



建立年月は不詳であるが、1815年の記名石があり、それ以前より村の人々の尊崇を受けている。毎年12月14日の祭りは、田畑の泥土をもって上塗りをしており、豊作の神と言われている。

15 ほうえいすいどう(いまむら) 宝永隧道(今村マブ)

産業遺産

地図 A-2



1704年、今・赤星・森北地区の約100haの水田への灌漑用水のために、山を掘削して作られた隧道(水のトンネル)である。全長168間(約302m)で三代目河原空左衛門の三大事業の一つとされる。